



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

11月2日号（286号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

時代に翻弄された台湾の日本語作家 2日(日)=1、3面



周金波（中央の写真）

歯科医を目指して大学に進み、同時に日本語で小説を書き、それが文学賞を受賞しました。しかし日本の敗戦後、台湾には蒋介石の国民党が入ってきて、知識層を弾圧します。周金波は日本統治に積極的に協力した「皇民作家」のレッテルを張られ、その後3度拘束されます。なんと自宅に戻りましたが、弟は殺されてしまいます。周金波はその後、作家としての活動を絶つようになります。しかし晩年、シンポジウムや講演に招かれ、自身の体験を話し始めました。時代に翻弄された周金波の苦しみに取り憑

々を日本人化する、いわゆる皇民化政策を進めました。周金波（1920～96年）は台湾の歯科医の息子として生まれ、日本に留学します。



迫る

1895年、台湾は日本の統治下にありました。日本は台湾の人

そこ が聞きたい

「性的ディープフェイク」 必要な法整備とは

2日(日)=くらしナビ面



生成人工知能（AI）を悪用して作った性的な画像や動画「性的ディープフェイク」の被害が社会問題となつていますが、既存法での摘発は追いついていないとも指摘されています。被害拡大を防ぐためには、どのような法整備が必要でしょうか。刑法が専門の神奈川大法学部・上田正基准教授（37）＝写真＝は、鍵となるのは、海外における法規制のベースにもなっている「比較的新しい考え方」だと話します。一体、どういうものなのでしょうか。



論点

深刻化するAI依存

5日(水)＝オピニオン面

対話型生成人工知能（AI）への依存が自殺や殺人事件につながつたとされるケースが海外で相次いで報じられています。悩み相談などに付き合ってくれる生成AIを「心のケア」に使う人

は増えていますが、具体的にどんなリスクをはらんでいるのか。この分野で後れを取る日本はどのような開発や規制を目指すべきなのか。専門家や精神科医に聞きました。

特集 ワイド

「〇〇の秋」を探す

4日(火)=夕刊2面



食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋――。春夏秋冬、こんなに「枕ことば」が盛りだくさんなのは秋だけではないでしょうか。涼しいから？ 収穫の季節だから？ 空気が澄んでいるから？ そのルーツを探ろうと取材を重ねると、誰もが知る文豪の作品や俳句の「季語」などなど、日本人と秋の密接な関係が浮かび上がってきました。四季の移ろいから、人生を楽しむヒントを考えます。